

ともいき 共生

新春号

2024年1月

Vol.14

社会福祉法人
札幌慈啓会 広報誌

TOMOIKI

すべてのいのちに寄り添い、共に生き続ける

特集

第26回札幌慈啓会福祉・病院学会

- 理事長ご挨拶、第26回福祉・病院学会 2～3P
- 施設だより 4～5P
- スタッフ紹介、苦情報告 6P
- 働きやすい福祉の職場認証制度 7P
- 健康コラム、簡単レシピ 8P



軽費老人ホーム
札幌市拓寿園



理事長挨拶



札幌慈啓会理事長
太田 眞琴

二〇二四年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。平素より札幌慈啓会に対して、ご利用者様・ご家族様・地域の皆様より温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。また、後援会をはじめとした多くの皆様よりご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、ここ数年猛威を振るった新型コロナウイルスも昨年5月より分類が5類となり、世の中はアフターコロナの段階に進んだところであります。しかし、私どもの法人におきましては、5類化以降も複数のクラスターが発生していることから、職員のマスク着用やご利用者様の外出やご面会への制限などにつきましてはやむなく継続をしております。今後も感染が完全に収束の見通しが立たない以上、個別に施設や病院ごとで工夫や取り組みを行い、特に面会に

つきましては昨年末より一部緩和をさせていただきました。今後も感染の状況を見極めつつ、より一層の対応を進めてまいります。

そのほか、法人の動きとしては、昨年9月には北海道による「働きやすい介護の職場」認証を取得しました。職員の働きやすい環境づくりをこれからもより一層進めてまいります。11月には「第26回福祉・病院学会」を4年ぶりに集合形式で開催し、多くの皆様にご来場を頂きました。職員の普段からの取り組みや研修の成果を広く知っていただくまたとない機会となりました。

当法人は二〇二五年に創立100周年を迎えます。現在プロジェクトを立ち上げ、将来を見据えた法人のあり方・役割などについて検討をおこなっております。これらは「法人ビジョン」として今後皆様にお示しをさせて頂く予定であります。

世界情勢・社会情勢もより一層厳しさを増す中ではございますが、札幌慈啓会がご利用いただく皆様へ変わらぬサービス提供を心がけてまいります。本年もなにとぞよろしくお願い申し上げます。

第26回福祉・病院学会が開催されました

令和5年11月4日（土）、札幌市社会福祉総合センター4階大研修室において、第26回福祉・病院学会が開催されました。

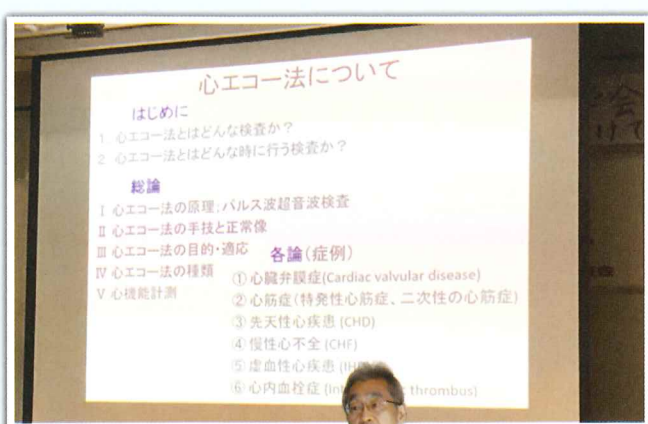
本学会は札幌市の後援をいただき、北海道教育委員会の主催による「道民カレッジ」の公開講座も併せて実施いたしました。

公開講座は、慈啓会病院循環器内科部長である亀井富士人先生により「心エコー法について」お話しいただきました。続いて、慈啓会の共生（ともいき）助成金事業報告として藤女子大学人間生活学部人間生活学科特任教授、大友芳恵先生による「養老事業にみる対人支援の視座」としてご報告いただきました。

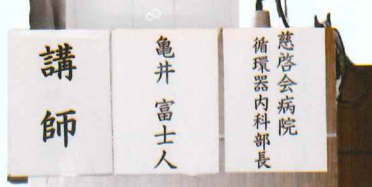
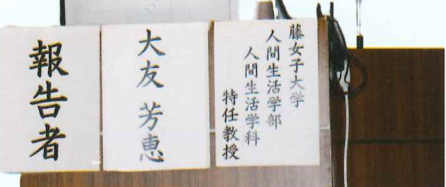
その後は研究発表に移り、4セッション16題の演者による発表を実施。これは慈啓会の各施設、病院、保育園など、それぞれ職員から普段の業務の中で得た工夫や発見、研究や考察などを発表する貴重な場であります。

会場には多くの職員と一般参加の皆様にお集まりいただき盛況のうち

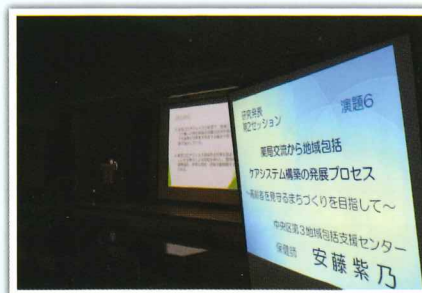
に無事終了することができました。実施にあたり、ご協力いただいた各機関および皆様には心から御礼を申し上げます。

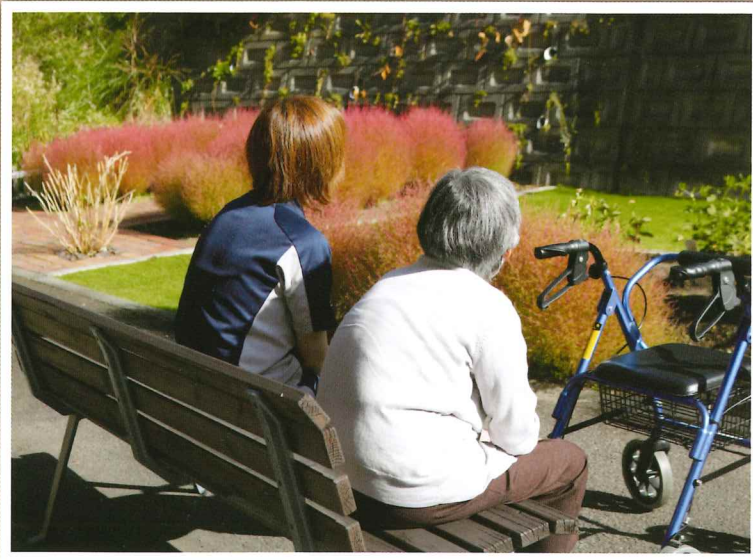


第26回福祉・病院学会



No.	演題	No.	演題
1	養護老人ホームにおけるICT導入	9	選ばれる施設づくりを目指して
2	X線TV装置CUREVISTA導入の経緯および使用経験	10	看取りケアからみる多職種連携の考察
3	在宅復帰に向けたリハビリテーションの取り組み	11	食事に対してのこだわり
4	利用者・事業所・地域に選ばれるデイサービスセンターを目指して	12	つながれ！ケアラー支援の輪！
5	異年齢保育について	13	当施設における入居者の推移とこれからの養護老人ホームが進む方向性について
6	薬局交流から地域包括ケアシステム構築の発展プロセス	14	コロナ禍での感染対策に係る家族対応と面会方法の変遷
7	5階認知症病棟における精神科作業療法の開設について	15	軽費老人ホームにおけるコロナ禍の状況
8	ハード面の整備によって自立支援にもたらす影響の検討	16	新型コロナクラスターを経験して





慈啓会デイサービスセンター

慈啓会デイサービスセンターでは新型コロナウイルスの感染対策が始まってから、デイサービスの庭を1年間通して有効活用しています。春には花植えなどで花壇を作り、夏はスイカやメロンの栽培、秋には落花生を皆さんと収穫しています。そして、冬には雪像作りで楽しんでいただいています。今年はコキアを植えたので、皆さんとホウキを作る予定です。

新型コロナウイルス5類移行後も感染対策は続いており、庭の活用以外にも春のお茶会、夏祭り、敬老会等を行いながら、ご利用者様に楽しんでいただけるようなプログラムを考えてきました。

今夏の夏祭りでは、大型スクリーンでよさこいソーラン祭りの映像を見て、初夏ならではの季節感を感じていただきました。また、よさこいソーラン祭りに参加経験のある職員が、簡単な振り付けを考え、皆様と一緒に踊り、身体を動かす場としても楽しんでいただきました。

今後の感染対策緩和に伴い、ご利用者様、ご家族様のご要望にできるだけお応えできるよう外出レクリエーションをはじめ様々なイベントを考え、皆様に充実した時を過ごしていただけるデイサービスを目指していきたいと思っています。



新型コロナウイルス感染も5類に引き下げられた事もあり、8月には夏祭り、9月には敬老会、10月と11月の5日間で石山緑地に外出レクを実施しました。初日は天気にも恵まれ、紅葉が最高潮の見所でしたが、冬の使者「雪虫」が多く、早々に車に乗り込むハプニングもありました。雨の日は外には出られませんでした。車内からは色鮮やかな景色を堪能しました。また、外出レクには必ずリハビリの専門職

慈啓会老人保健施設デイケアサービス

が同行し、普段あまり見ることのない屋外での歩行を含めた色々な動作の確認をしています。

毎月発行している「デイケア便り」には行事の写真や職員紹介なども掲載し、ご利用者様やご家族からも好評です。

昨年から取り組んでいる「短時間リハビリ」は午後の13時30分～火・水・木の3日間限定でしたが問い合わせが多く、現在は月・金の午後で対応いたしております。体験利用も随時受け付けておりますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。



札幌市稲寿園デイサービスセンターは、特別養護老人ホームに併設している定員数32名の通所施設です。

送迎範囲は手稲区全域で介護職員や看護師、相談員のほか理学療法士等が勤務しており、生活面での介護やレクリエーション、個別や集団の機能回復訓練など、日常生活のケアを提供しております。

特に、食事・入浴・レクリエーションに力を入れており、食事行事では夏祭りに焼き鳥を炭火で焼いたり、秋の味覚祭にはサンマの炭火焼やサツマイモ焼きなど四季折々の食事を提供しました。

茶話会等では、アイススクリームマシンを使用したソフトクリームなどのお菓子も提供しております。

入浴行事は月毎で変わる桜の湯やご当地の湯、リンゴ、柚子、レモンの果実を浮かせた果物の湯等をお楽しみいただいております。

レクリエーション行事では、

札幌市稲寿園デイサービスセンター



手工芸や習字、集団で行う対抗レクリエーションなど、参加型を意識したメニューを提供しております。

その他、麻雀、囲碁、トランプ、読書(小説・雑誌)を通じて小グループでの交流やおひとりの時間を楽しませている利用者様が多くいらっしゃるのも当センターの特徴です。

体験利用やご見学等は随時対応しておりますので、お気軽にお問い合わせください。



「北海道働きやすい介護の職場認証」を取得しました

このたび、慈啓会は令和5年9月29日に「北海道働きやすい介護の職場認証制度」による認証を取得いたしました。

本制度は、介護事業所における職員の人材育成や就労環境等の改善につながる取組について基準を満たした介護事業所に対し、北海道が「認証」を付与する制度です。

認証は大きく4つのカテゴリーに分かれ、それぞれの項目ごとに細かく定められている内容や基準を満たしているかの審査を受けました。

本認証の取得を受け、当法人はこれからもより良い職場づくりを目指して取り組みを続けてまいります。

～認証評価制度とは？～

介護事業者の人材育成や働きやすい環境づくり等に関する取組について、一定の基準を満たした事業所に「認証」を付与してその取組を「見える化」することで、職員の職場定着を推進するとともに、社会や地域に向けてその魅力を発信していく制度です。

厚生労働省が積極的な実施を奨励したこともあり、全国的に導入が進んでいます。（北海道HPより）



【認証の基準・内容】

1 健全な 組織運営	(1) 法令遵守の取組と理念の明確化、周知、浸透	①関係法令を遵守するための取組 ②法人・事業所の理念や事業方針の周知、浸透
	(2) 組織内コミュニケーションの活性化	①コミュニケーションを活性化するための取組
	(3) 地域との交流・協働・連携の取組	①地域に向けた情報発信や交流・協働・連携の取組
2 新規採用者の 育成・定着 促進	(1) 新規採用者の育成に関する取組	①新規採用者の育成計画作成
	(2) 新規採用者の定着促進に関する取組	①新規採用者の育成担当者の配置 ②新規採用者のための面談の実施
3 職員のキャリア形成支援と 公正な処遇の実現	(1) 職員のキャリア形成の仕組みの整備	①キャリアパスに対応した人材育成計画の作成
	(2) キャリア形成を支援する人材育成の取組	①キャリアパスに対応した人材育成計画の作成 ②資格取得支援の取組 ③人材育成のための面談の実施 ④人材育成のための評価の実施
	(3) 公正な処遇の実現	①職位・職責に応じた給与制度 ②昇給制度の導入
	(1) 働きやすさ向上のための取組	①業務改善のための取組
	(2) 健康管理の取組	①職員の心身の健康の維持・増進の取組 ②職員の心身の健康に関する相談窓口の設置
4 働きやすい、働き続けやすい職場づくり	(3) 母性健康管理、育児・介護と仕事の両立支援に関する取組	①産前産後の職員を対象とした仕事を続けやすくするための取組 ②育児・介護と仕事を両立するための支援



スタッフ紹介

こちらのコーナーでは慈啓会で働いているスタッフを紹介させていただきます。

中央区第3地域包括支援センター

社会福祉士

採用：2023年4月（1年目）

長嶋 建人

よりよい支援へ、一つひとつ確実に

私は7月から第3地域包括支援センターで勤務させていただいております。3ヵ月間は法人内の、形態の異なる施設・機関で利用者様とのかかわりの方法や相談員の役割について学ばせていただきました。

現在は、研修や実習での経験なども踏まえながら、毎日様々な場面で勉強しながら取り組んでいます。

はじめての経験をするとうからないこともありますが、一つひとつ確実に覚えていき、よりよい支援をできるようにしていきたいです。利用者様によって様々なニーズがあるので、これから多くの経験を積んでいき、一人一人に合わせた支援をさせていただくことを意識しながら今後も努力していきたいです。



体力づくりにウォーキングをしています

最近ではウォーキングやランニングをしています。1年半前に体力と習慣をつくる目的で始めました。最近では頻度が少なくなっているので、今後も時間を見つけて取り組んでいきたいと思っています。山や公園で行うことが多いので、たまに動物を見ることもあります。



後援会加入のお願い

社会の高齢化が進み、高齢者福祉の必要性、重要性が高まるなか、会員の皆様のご協力、ご支援は慈啓会の運営において大きな支えとなっております。慈啓会後援会では、一人でも多くの方の新規ご加入をお待ちしております。札幌慈啓会後援会事務局 TEL:011-561-8291

苦情報告の公表について

令和5年4月から令和5年9月までに寄せられた苦情は以下のとおりです。
苦情件数：2件
申出内容：職員の言動について（2件）
対応：速やかに状況の確認と内容の検討を行い、対処を行いました。また、申出者様に対してご説明や謝罪等の対応をいたしております。
第三者委員会：令和5年12月21日（木）に苦情解決第三者委員会を開催しました。

腸は栄養を消化吸収するだけの器官ではありません。「第2の脳」と言われ脳と腸は互いに密接に影響を与えています。食事と運動で腸を元気に排便を目指しましょう！腹筋が弱いと便をうまく押し出すことができないので簡単にできる腹筋トレーニングのドローイン（横隔膜を動かして腹圧をかけ、腹横筋を鍛える基本的なトレーニング）を紹介します。

やり方

- ① 背中を伸ばし胸を張ってまっすぐ立ちます
- ② お腹の筋肉を意識してへこませながらゆっくり息を吐きます
- ③ 30秒ほどで息を吐ききり、ゆっくり息を吸い込みます
- ④ これを5～10回繰り返します

腸内改善のために
食物繊維や水分摂取も
気をつけましょう！



野菜プラスで健康寿命もプラス！

ブロッコリーが苦手な入居者様にもお召し上がりいただいております人気のある『ブロッコリーのチーズ焼き』をご紹介します。

簡単レシピ

慈啓会養護老人ホーム

管理栄養士 藤本 夕美

《ブロッコリーのチーズ焼き》

一人分の栄養価

エネルギー 172Kcal、蛋白質 8.6g、
カルシウム 139mg

【材料】(1人分)

・ブロッコリー	50g
・コンソメ	0.5g
・鶏卵 (1/2 個)	25g
・牛乳 (小さじ1杯)	5g
・マヨネーズ	10g
・ピザ用チーズ	12g
・パン粉	1g

【作り方】

- ① ブロッコリーは小房に分けて茹でてからコンソメをまぶして下味を付けます
- ② 卵は茹でて殻をむきスライスします
- ③ オープンの天板にオープンシートを敷きます
- ④ 牛乳とマヨネーズは混ぜてソースを作ります
- ⑤ オープンシートの上に一人分ずつ、下味を付けたブロッコリーを置きスライスしたゆで卵を重ねます
- ⑥ 上から④のソースをかけ、さらにピザ用チーズ、パン粉の順番にのせます
- ⑦ 今回は 200 度のオーブンで 6 分焼きました

ブロッコリーもゆで卵もそのまま食べられるので、チーズが溶けてパン粉にさっと焦げ色が付いたら出来上がりです。施設ではお一人分ずつにして作りますが、ご家庭ではグラタン皿にたくさん作り、お好きなだけ取り分けていただくのも楽しいと思います。

この日の昼食は、かき揚げうどん、ブロッコリーのチーズ焼き、寒天の黒蜜かけ小豆添えでした。

表紙題字揮毫：「共生」

長谷川白羊（はせがわはくよう）書。

昭和4年札幌市生まれ。本名・悦以（よしつぐ）。法政大学文学部卒。
昭和35年山口子羊に師事。平成2年「札幌と書」（札幌市教育委員）
に於いて「札幌の書家」百選に選ばれる。平成6年個展開催（於 札幌
大丸藤井セントラル）

表紙写真：「軽費老人ホーム B 型 札幌市拓寿園職員」

広報誌「共生」2024年1月 Vol.14

編集発行／社会福祉法人札幌慈啓会

【法人本部】〒064-0941 札幌市中央区旭ヶ丘5丁目6番51号
（慈啓会特別養護老人ホーム1F）
TEL011-561-8291 FAX011-561-8298
<https://www.sapporojikeikai.or.jp>

